

有磨学区(町・地区)まちづくり推進委員会

委員長 小田 朋志

(問合せ先) 084-958-3849 (有磨交流館)

## 事業内容

### (1) 魅力ある地域づくり事業

- 環境学習 視察研修『島根原子力館』（5月24日）
- 住民学習 講演会「今をどう生きるか～高齢者の人権～」(9月20日)
- 人権パネル展 『認知症について』（10月25日）

### (2) 健康・生きがい・支えあい事業

- そとまちロードウォーキング『出雲大社』（5月24日）

### (3) 地域ぐるみの生活安全・環境事業

- 防災学習会（11月29日）
- 環境ポスター作成・学区内掲示  
（2月 学区内ごみステーション）
- 芦田大谷砂留整備作業（11～2月）

### (4) つなぐ心・人・地域交流事業

- ふれあい秋祭り（10月25日）
- モルック大会（2月8日）


### (5) 広報誌発行事業 年2回 有磨交流館

### (6) コミュニティ育成事業

- 地域一斉清掃・地域交流行事など 通年


### (7) まちづくり推進委員会運営事業 通年

- 善行市民表彰の推薦と善行学区民表彰  
選挙啓発


島根原子力館 



 人権パネル展

 防災学習会



 ふれあい秋祭り

 砂留整備



## 成果

まちづくりの推進に向け、地域ニーズを検討しながら、行事の規模、内容の変更、開催時期を考慮するなど、安全を確保しながら適宜工夫して実施することができた。

## 課題

高齢者の割合がますます増加し、こどもが減少している。世代間交流や高齢者のニーズにあった行事内容への見直しが必要である。各団体役員への負担を軽減しつつ、役割の理解を高め、少しでも参加しやすい環境を整えていきたい。

## 課題解決にむけて

コロナ後、行事の規模や内容など大きく様変わりしている。地域のニーズに応えられるように、関係機関や各種団体との連携を図り、幅広い世代の活動の活性化と行事の見直し、人材（担い手）の育成に取り組んでいく必要がある。

## 『ふれあい秋祭り』

2025年10月25日(土)に有磨交流館で『ふれあい秋祭り』が行われました。例年夏に行っていた「夏祭り」は酷暑のため、参加者・役員の健康面を考慮して開催時期を秋に変更しました。今年度からは文化祭と夏祭りを『ふれあい秋祭り』として同時開催！朝方の雨には心配しましたが、開催時間中はお天気となり…地域の方や子どもたち、たくさんの皆さんが参加してくださり、とてもにぎやかな一日となりました。



オープニングは“有磨鼓遊会”のダイナミックな和太鼓の力強い演奏。

大きな太鼓に皆さんびっくり！祭りを一気に盛り上げてくださいました。



伝統文化のおもてなし…「お抹茶席」

和室では、有磨小学校の茶道部の子どもたちが緋の着物姿で、季節のお菓子とお抹茶をお運びしてくれました。



作品展では、有磨交流館で活動されているサークルの皆さんと個人の方の力作を多数展示しました。

手芸、生け花、小学生の水墨画など盛りだくさん。

素敵な力作に、皆さん見入っていました。

人権パネル展では、《認知症》をテーマにパネルを展示しました。認知症は年齢に関わらず、誰もがなり得る病気です。

本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために…今回のパネル展が少しでも今後のヒントになれば幸いです。



交流館の駐車場では、自治会連合会や体育会、女性協議会など、地域の方のご協力により、うどんや焼きそばなどの美味しいものやゲームの出店がありました。

ゲームコーナーでは、だるま落とし、ヨーヨー釣りなど、子どもたちが歓声をあげながら楽しんでいました。

有磨学区では高齢化が進み、なかなか世代間交流や行事を楽しむ機会が少なくなってきましたが、今後も皆で楽しめる『ふれあい秋祭り』を継続していきたいと思っています。

